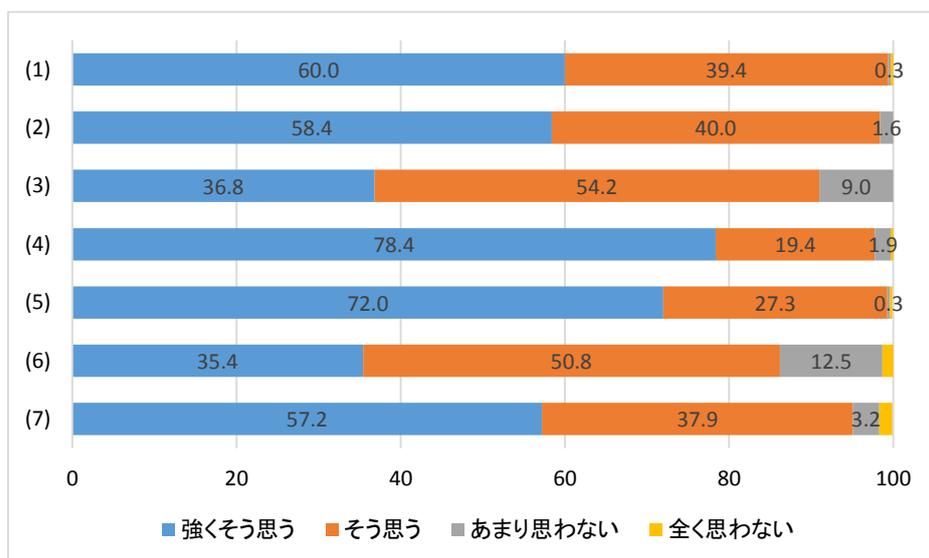


# 「探究活動ガイダンス」活動報告

## ◇ 選択式回答

### ・質問項目

- (1) 松沢先生の講演を聞くことにより「探究する」ことへの興味・関心が高まった。
- (2) 「人間とは何か？」というテーマについて、どのような方法で研究が進められたのか理解することが出来た。
- (3) 日本モンキーセンターにおいて、観察やショートガイドで学んだことから新たな問題点や疑問点を見出すことが出来た。
- (4) 「研究所で研究することと、中学・高校の授業で教科書の内容を学ぶことの違い」を感じる事が出来た。
- (5) 今回の探究活動ガイダンスで、「研究には知識を活用して十分に考え深く追究することが大切である」と感じた。
- (6) 探究活動ガイダンスを通じて、研究に対する自分の気持ちや考えが大きく変化した。
- (7) 探究活動ガイダンスは自分にとって有意義であり、研修内容を他人と是非共有したい（他人に知らせたい）と思った。



## ◇ 記述式回答（抜粋）

（設問）探究活動ガイダンスに参加して、研究に対するあなたの気持ちや考え方の変化を具体的に記しなさい。

- 今回の活動で、いつもより疑問点を意識してノートを書くようになりました。すると、普段の自分からは想像できないほど疑問が出て来て、私が知らなかった自分に驚きました。ノートにたくさん疑問を書いたり、松沢先生の講演やショートガイドを聞いたりするうちに、疑問を見つける感覚が以前よりも敏感になり、疑問を書いたり調べるといった簡単なところから「研究」はすでに始まっていること、探究心は身近なところで磨けるということを実感できました。
- 松沢先生の講演を聴いて、自然に疑問を見つけることができました。今までは、質疑応答の時間はあっても質問なんてそんなになんか思っていたのですが、今回は聞きたいと思うことがあり、色々な視点から疑問・質問を共有することができたのでとてもためになりました。また、馬の研究を始めた理由がとても身近なきっかけであったことがわかり、研究を始めようと思えばいくらでもきっかけは得られることを学びました。モンキーセンターでは、チンパンジーが口に含んだ水をブーっと吐き出したので、その行動はどういう意味があるのか、知りたいと思いました。

- まず、研究というものは、理論的に実験結果から考えていくだけだと思っていたが、今日の探究活動ガイダンスで、どれだけ自分の「探究心」や「自分の考え」が研究において大切になってくるのかを松沢先生の講義の内容や進め方を実感して思った。また、その出た研究結果を、それで終わるのではなく、細かな条件を変えて繰り返したり、他動物と比較したりしていたことから、研究における確認や比較もとても重要な役割をしているのだということを知った。研究はただ実験するだけでなく、知識をフル活用し、何度も繰り返して比較し、自分の考えを持つというとても大変で興味深いものなのだと思った。
- 松沢先生の講演を聞くまで、私は「研究」とは調べたいことについて、ただ突き詰めていくだけのことなのだと思っていた。でも講演を聞いて、「研究」とは、そんな薄っぺらいものではなく、あれも知りたい、これも知りたいと小さな事でも常に疑問を持って、その「真」のところまで深く追究し、研究対象をよい「好き」になるということなんだと感じました。ショートガイドでは、日々サルと向き合い、詳しい行動や数値を調べている方々のお話を聞けて、研究に対する熱意も感じる事ができた。私も今日あった方々のように、小さな事でも常に疑問をもち、奥深くまで知ることを楽しめる人でありたいと感じた。
- 松沢先生の話聞いて、私は興味を持ったことをとことん掘り下げて研究していくことが大切なんだなと思いました。また、結果が出たときに、そこからどんなことが読み取れるのかをきちんと確かめないと研究の本当の成果は出ないと分かりました。また、モンキーセンター内で聞いたクモザルの話からは、1つの視点からではなく、別の複数の視点から物事を眺めること大切さを知りました。これからの生活に活かしていきたいです。